



## 下重 喜代（しもじゅう きよ）

サステナブル・アカデミー・ジャパン 代表  
日本野外生活推進協会公認講師

東京生まれ。広告代理店を経て、「未来社会への井戸端会議」を標榜した全国ネットのミニコミ誌季刊『AVIS』を主宰し100号を重ね閉じる。

行政、企業、農家、教育関係者などとネットワークを組み、青空冒険学校、多摩生きもの友の会、こどもエコクラブ（WINGジュニアクラブ）、東京森のムッレ教室などを立ち上げ、子どもたちと自然の中で遊び、学びつつ、日本野鳥の会国際自然アカデミー参与として、企業や子どもを対象とした環境教育のプログラムを開発。帝京大学教育学部非常勤講師を経てフリーとなった現在も「幼児と自然」をキーワードに、持続可能な社会の担い手の育成をライフワークとする。

共著：

『市民版・日野まちづくりマスタープラン』

『楽農宣言』（コモンズ）

『幼児のための環境教育～スウェーデンからの贈りもの「森のムッレ教室」～』（新評論）

『いのちのつながりー環境紙芝居15のおはなし』（サステナブル・アカデミー・ジャパン）

## 光橋 翠（みつはし みどり）

サステナブル・アカデミー・ジャパン 共同代表  
日本野外生活推進協会公認講師



東京生まれ。2002年、東京大学大学院新領域創成科学研究科にて国際環境協力を専攻し、修士号を取得。スカンジナビア政府観光局、米国ウィリアム・J・クリントン財団を経て、現在は独立し、子どものための野外教室インストラクターとして地域の野外活動の支援や持続可能な社会のための人材育成に従事。サステナブル・アカデミー・ジャパン共同代表兼講師として国内外の野外教室リーダーの育成事業に力を入れる。現在、お茶の水女子大学大学院保育・児童学領域博士課程。

書籍：

編著『幼児のための環境教育ースウェーデンからの贈りもの「森のムッレ教室」』（2007年、新評論）

訳本『世界平和への冒険旅行ーダグ・ハマーショルドと国連の未来』（2013年、新評論）

訳本『世界を治療する：ファーマーから次世代へのメッセージ』（2016、新評論）

監修『親子で作る！自然素材のかんたん雑貨&おもちゃ』（2014年、日東書院）